RawLazy.Com
魁の花巫女
さきがけのはなみこ
きただりょうま
2
SHONEN MAGAZINE COMICS
DL-Raw.Se

きただりょうま

SHONEN MAGAZINE COMICS

目次

ごしごし
擦々

ふー
終わったー

この城
お風呂いくつ
あるんだよ…？

あー
居た居た
丁子部屋の
雑用君

！

次は
これ洗濯
よろしく

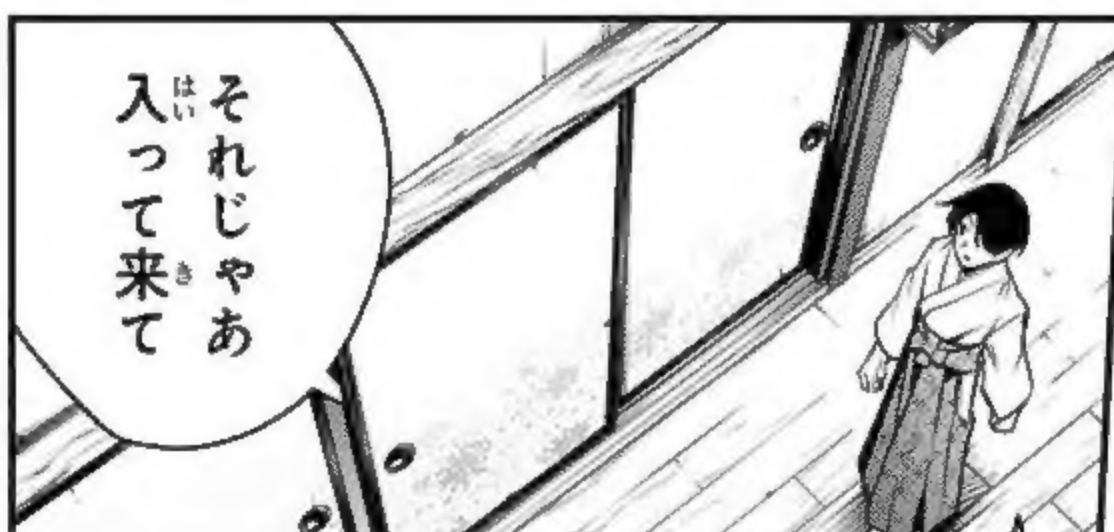
盛りっ

そんなに!?

お礼なら
後でたっぷり
するからさ…♥

!?

第六輪「月下 其の壱」

あーもう
イライラする
なんであいつが
こんなに堂々と
働けてるのよ…
刺っ
刺っ
まあ噂じゃ
花巫女に危害を
加えないことが
ここに居る条件
らしいし…
花巫女には
逆らえないって
ことじゃねーの？
何よそれ？
どうやら
楼主様の跡継ぎを
狙っているみたい
ですわ
ふーん…
それ目当てで
皆に取り入ろうと
してる訳ね…

新様は…危害なんて加えないと思いますけど…

それに前に言ったでしょ？

男出没注意
男は皆ケダモノだと証明してみせるって
ふー 食った食った
ここのまかない料理は最高だな
ちょっとどこに居るのよ下男ー!?
どうかしたか?
ちょっと頼みたいことがあるんだけど
ああ俺でよければ手伝うよ
それじゃあ入って来て
失礼します…

って何だ
その格好!?
何って
着付けの
準備だけど?
まさか下働きの癖に
着物の着付けが
出来ない
なんてこと
ある訳ない
わよね?

ど…
どうせ男なんてこういうのでイチコロなんでしょ？
動悸
動悸
少しでも変なことしたら大声あげてやる…！

そうすればこの男も一巻の終わり――
寒いんだけど？早くしなさいよ

はー…わかったよ…

適度

適度

これでいいか?

いやなんで出来るのよ!?

帯がキツすぎ裾も合ってない

そんな腕前がここで通用すると思ったら大間違いよ？

無に

これならどう…？

く…面目ない…

頼むもう一度やらせてくれ！

へ…？

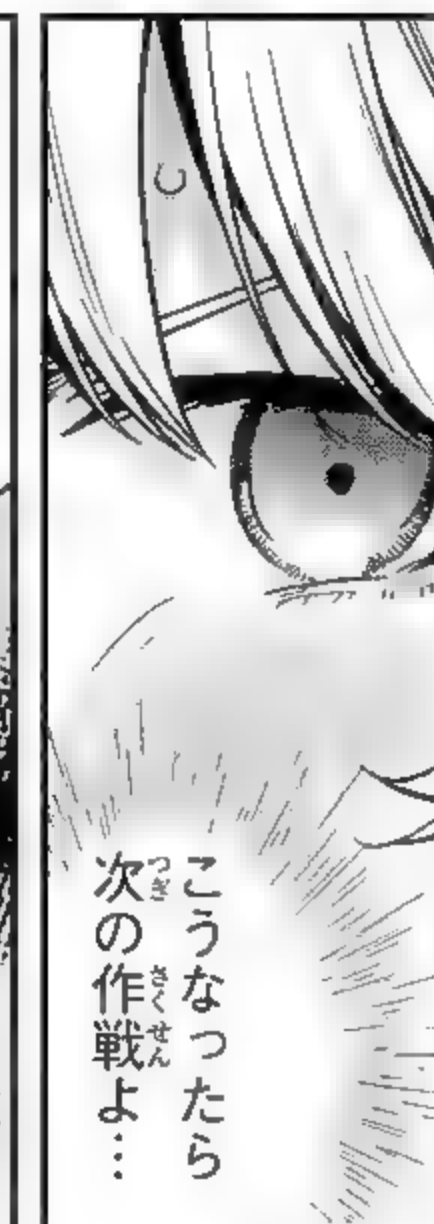
鴉かーっ
鴉かーっ

はあっ…
はあっ…

おかしいわね…
教本では男の本性はケダモノって習ったのに…
中々本性を見せない奴…

まあいいわ今日はこんな所で勘弁してあげる
パこ
お疲れ様でしたっ

こうなったら次の作戦よ…

それにしてもアンタ最近お風呂に入った?
少し臭うんだけど
えっと…
実は風呂を使っていいかわからなかったから水浴びしかしてなくて…

仕方ないわね…

今夜は福神も花巫女も露天風呂は使いませんからその間に入りなさいよ

ごめん…ありがとう月下さん

それじゃあ失礼します

自ら練習に付き合ってくれるなんて

月下さんも良い所あるんだな

！
春椿さん
どうした？
あの…
実は新様に
お伝えして
おきたいことが
ありまして…
？
月下さんが
俺を追い出そうと
してるかも
しれない…？
はい…
本気じゃないとは
思いますが
念の為お耳に
入れておきたくて

実は月下ちゃん有名な花巫女の一家の次女なんです

ただ長女と三女が優秀過ぎることにずっと悩んでいたみたいで

姉妹と比べられたくないから敢えて自ら出世とは無縁のこの部屋に来たと聞きました

花巫女として頑張れば必然的に姉妹と比べられるもんな

それで敢えて不真面目に振る舞ってる訳か…

っていうか男!?

それはこっちのセリフ

そんな所に急に皆にやる気を出させようとする俺が現れたんじゃ邪魔な訳だよな

ちょっと明日その姉妹に話を聞いてみるか…
ありがとう春椿さん色々教えてくれて
いえ…力になれたのならよかったです

俺…臭うか?

……

まさかこんな良い露天風呂に入れてもらえるなんてな

にしても俺を追い出そうとしてる…か…
お風呂の時間を教えてくれたし親切な子だと思ったんだけどな…
!?
おいおい…
嘘だろ…?
この物音…まさか——
がや外野
がや外野
空から

だ・・・

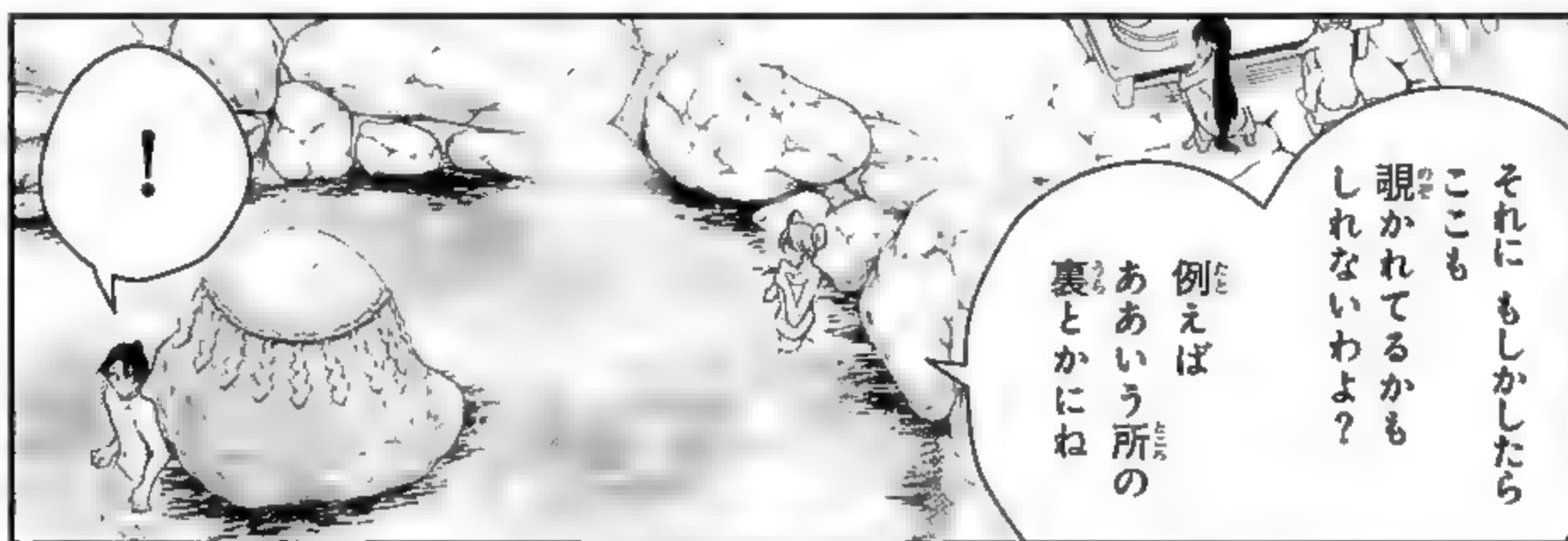
騙されたっ

そういえば知ってる？
〝二階の徘徊者〟の噂
何ですかそれ？
最近 夜な夜な誰かが二階の廊下を徘徊してるって話
噂じゃ福神に化けた禍神が獲物を探してるんだって
えー怖いです…
その噂だけど
もしかしたら新しく入った男衆が花巫女の寝姿を覗き見でもしてるんじゃない？
ちょっといい加減なこと言うのやめてよ月下…！

雛菊
稲妻
月下
第七輪「月下 其の弐」
DL-Raw.Se

バレたら楼主に
なるどころの
話じゃない…

どうする
…?

そうだ…

俺は
素潜りのプロ
俺は
素潜りのプロ…

何分だって
潜ってられる
から

耐えろ
俺…!

さあ観念しなさい
あれ?
何してんだ月下?

なるべく
向こうは
見ないように…

ふう…

!

つ突ん

兄さん!?!?

ぼべん
ばぶべべ…

かこっ
あれ？お湯が…

どっどうやら排水口の栓が壊れてるみたい…！
私が直しとくからみんな一旦上がってて！
えっちょっ…
んだよーせっかく来たのに

ちっ…

みんな出て行ったのでもう大丈夫ですよ兄さん
一体何があったんですか…？

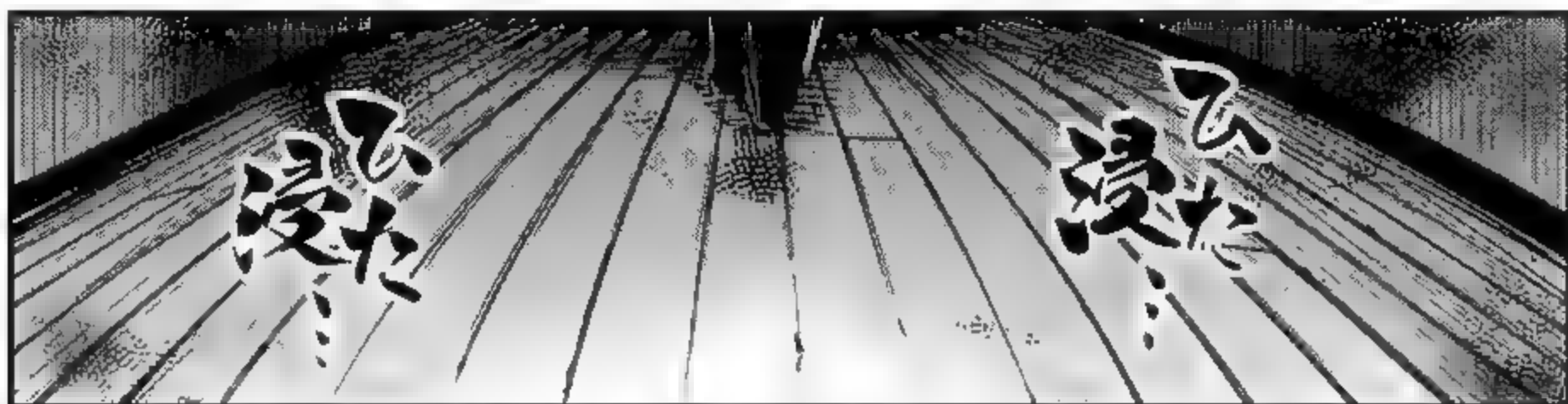
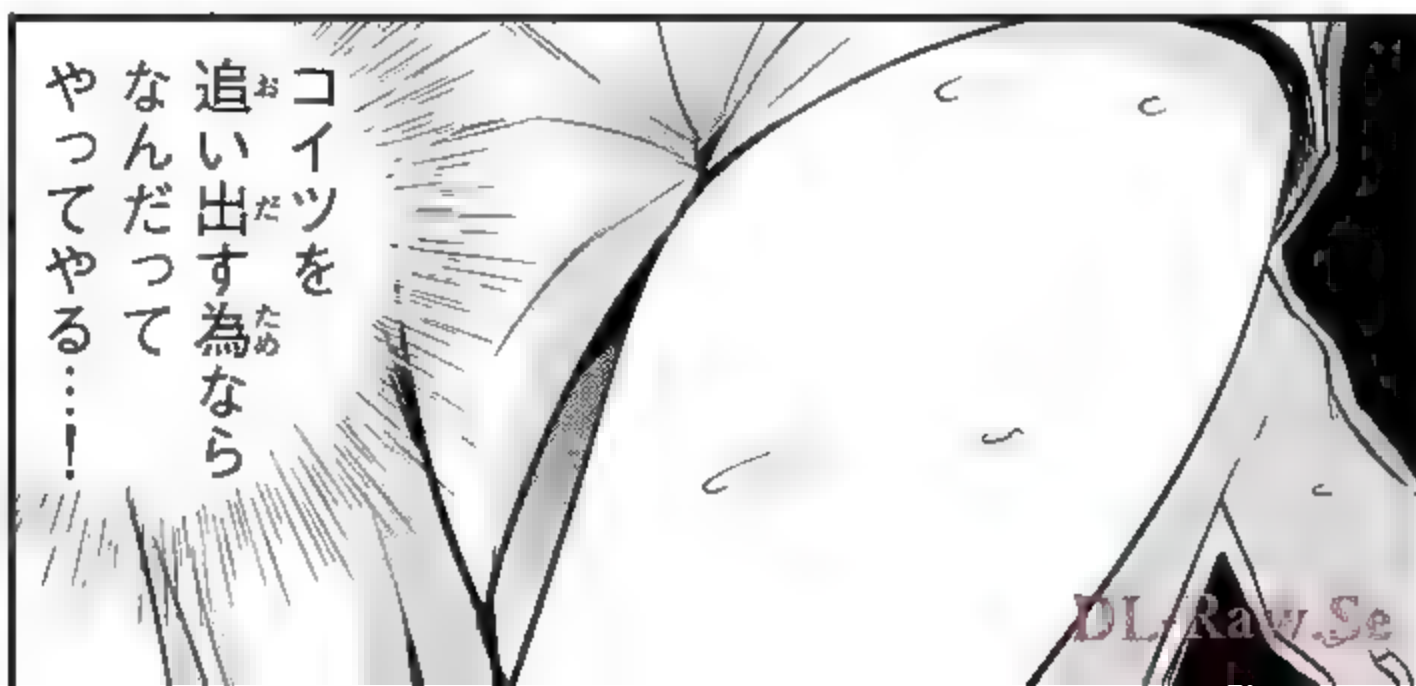
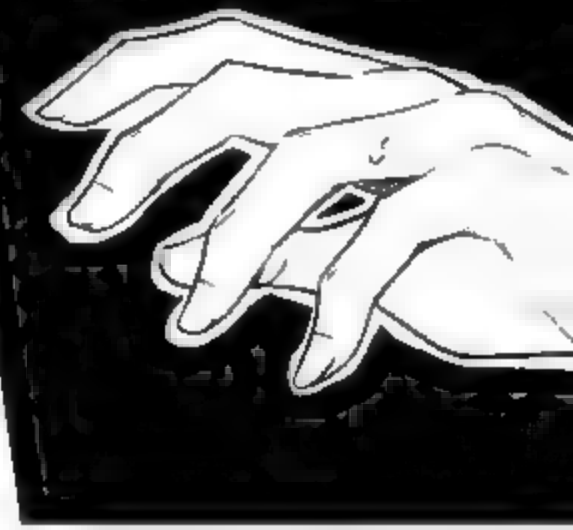
って兄さん!?
ぜーっ
ぜ!
だ…大丈夫…

ん…

ひた浸た…
!
噂じゃ福神に化けた禍神が獲物を探してるんだって
まさか…な…
噂話を気にし過ぎだよな…早く寝よ

ごんごん
?
なんだ?
何か布団に入ってきた…?
ばっ
月下さん
!?

初めてこんな
姿を見せるのが
この男なのは
本当に嫌だけど

丁子部屋は
私みたいな娘たちの
唯一の居場所…

ふえっ
全く世話が焼ける…
こんな恥ずかしい思いしてるのになんで手を出さないのよこの腑抜けっ！
何言ってんだ…？俺はこの部屋の男衆なんだから当たり前だろ…
うおびっくりした!!
がばっ
だとしても男は皆 理性なんてないケダモノって聞いたんだけど！
どういう教育受けたらそうなんの!?

そ…それとも何…？
私に魅力がないって言うの…？
それとこれとは関係ない…
ただ俺はたとえ何があってもここに居る間は花巫女を守るって決めたんだ…

それに俺の方こそ聞くけど何でそうまでして俺を追い出そうとするんだ…？
もしかして…君の姉妹と関係あるんじゃ…
!? なんでそのことを…

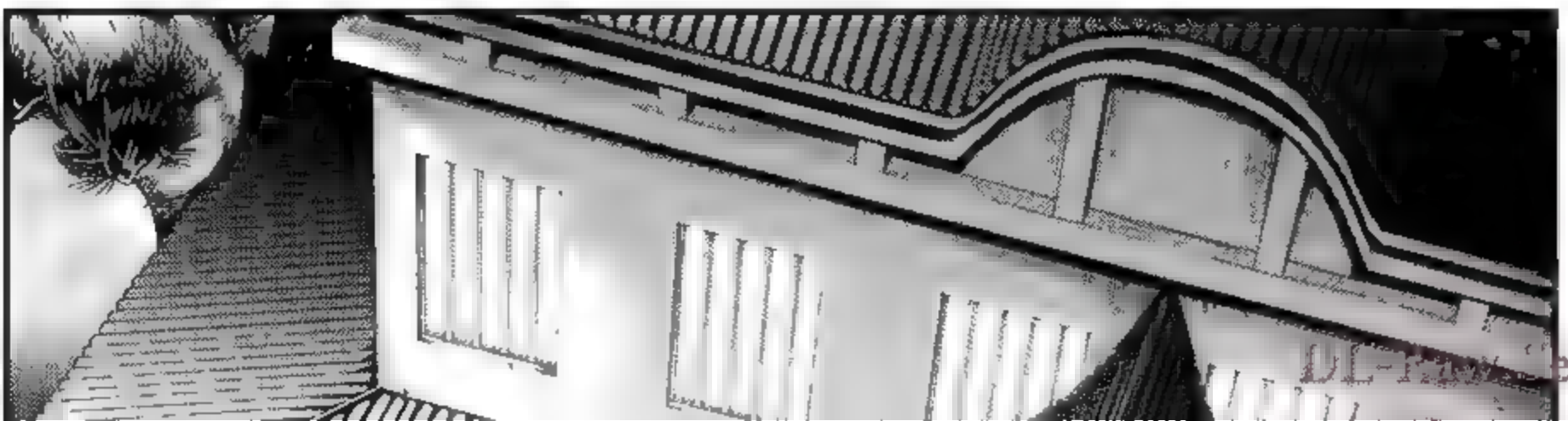
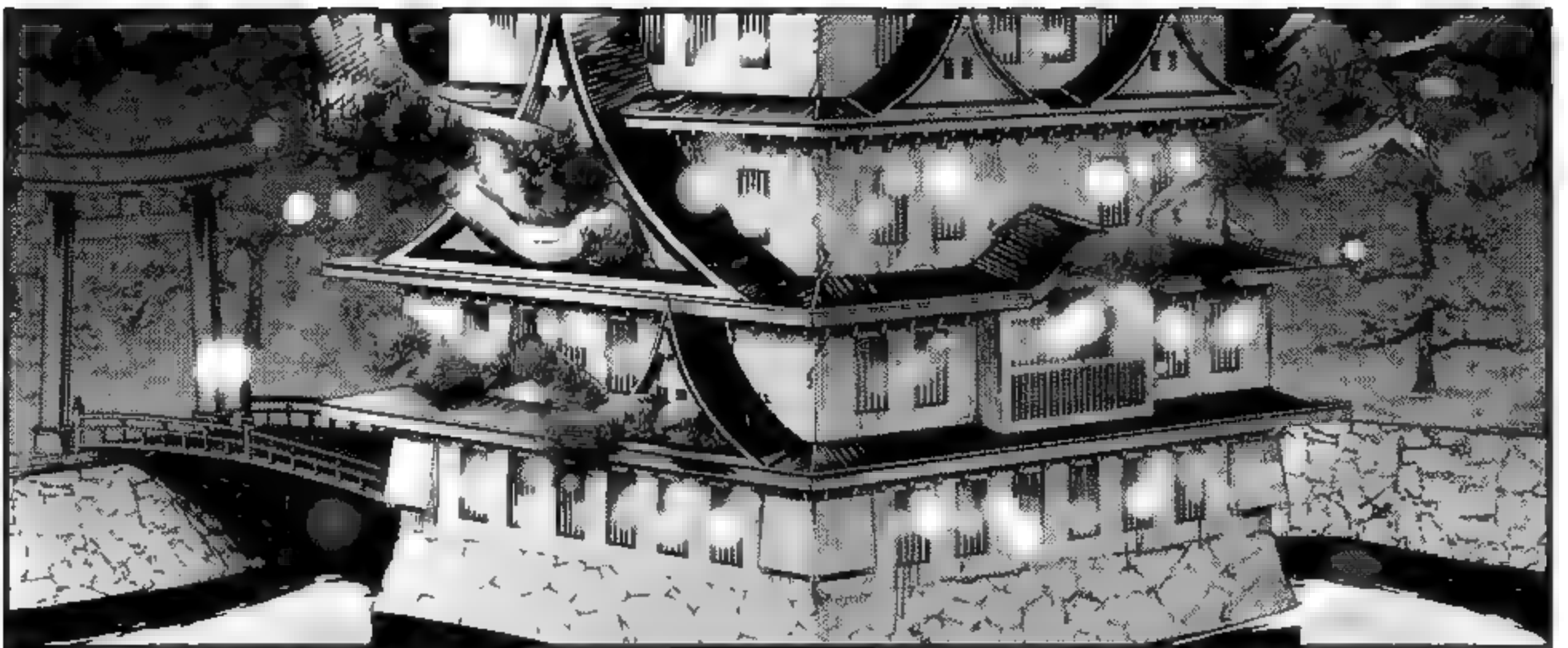
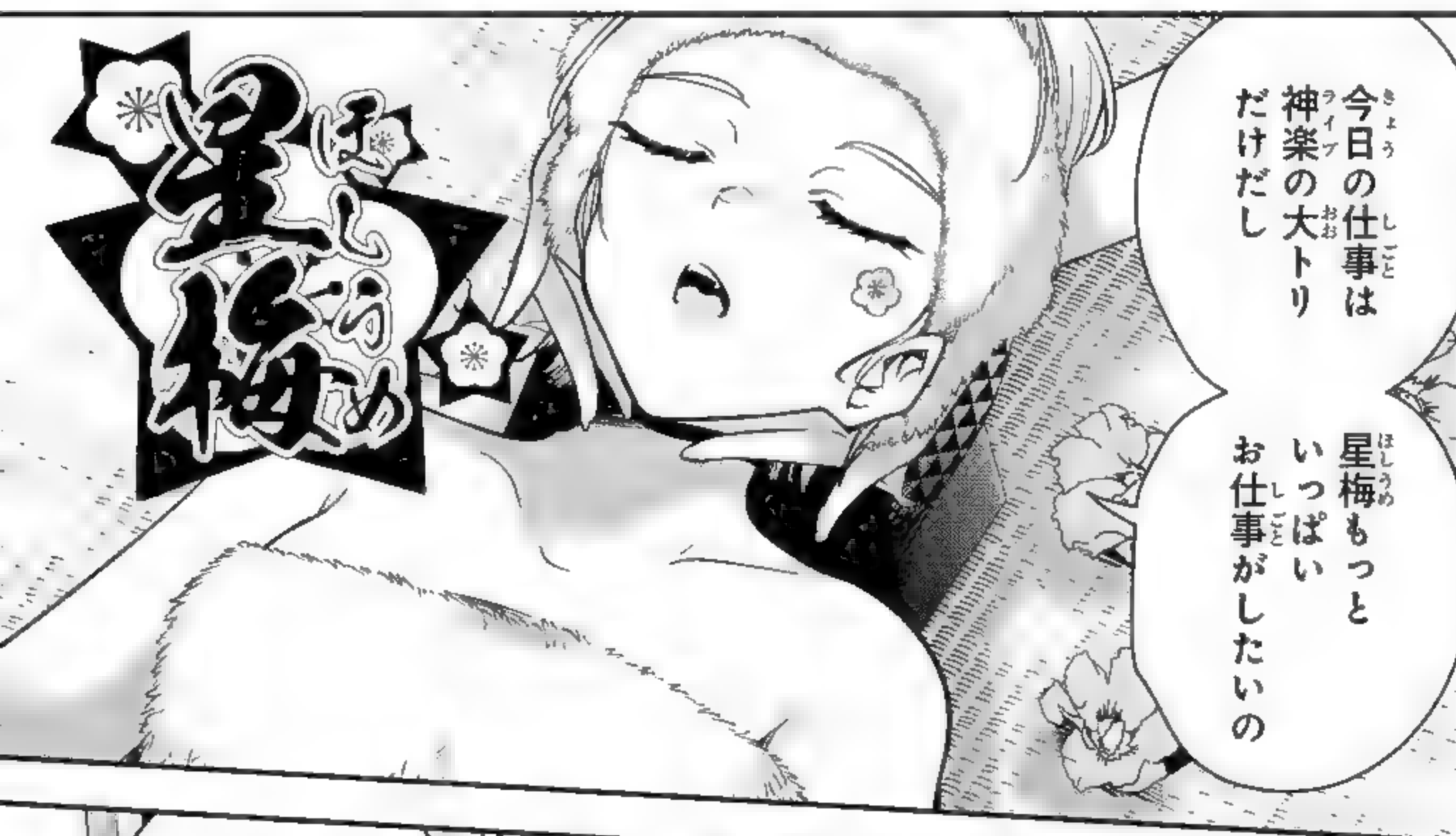
そうか…出来のいい兄弟がいると辛いよな…
俺だってその気持ちはよく理解る…
けど頑張れば君だって――

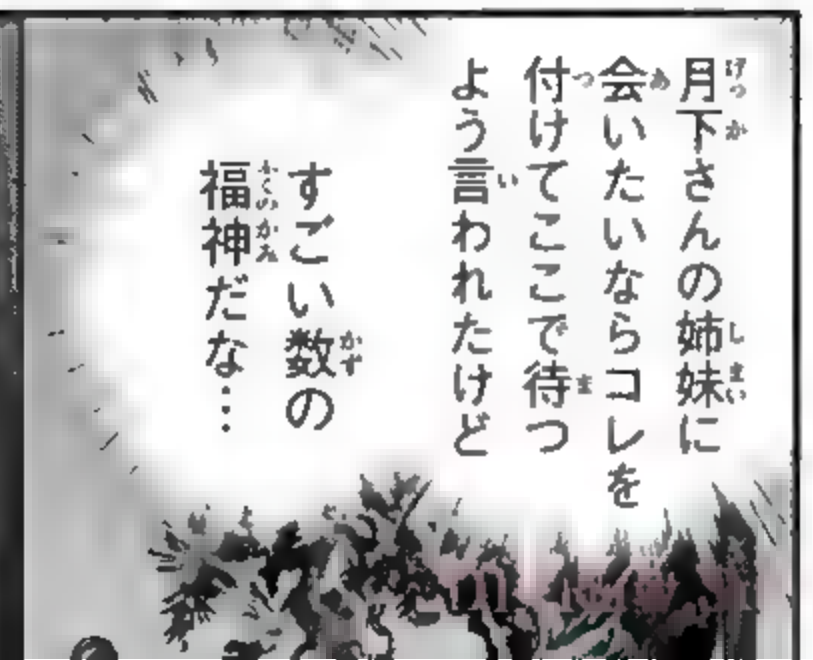
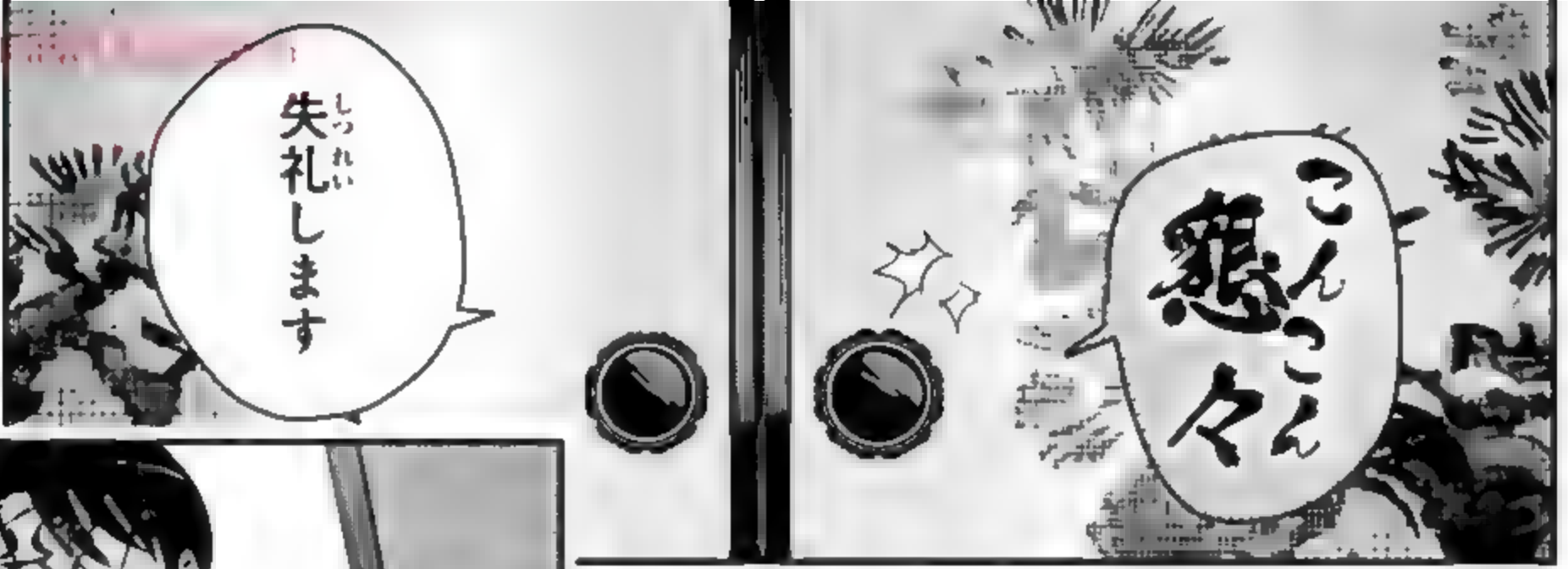
私達 家族のことなんて何も知らないくせに

頑張れとかやる気を出せとか気安く言わないで…！

はーっ…
何やってんだ俺は…

何も知らないくせに…か…
俺も義兄さんのことで悩んでる時に欲しかったのは慰めの言葉なんかじゃなかったよな…

だとすれば俺がすべきことは一つ…

今日の仕事は神楽の大トリだけだし
星梅もっといっぱいお仕事がしたいの
星梅

そう言うな星梅
太夫級はそう易々と仕事をしてはならない
さもないと全ての花巫女の仕事を奪ってしまうことになるからね
陽葵

失礼致します
陽葵姐様星梅姐様
御客様がお見えです
全く…
帰って頂きなさい
ボクは時間外営業はしない主義だといつも言ってるじゃないか
そうなのですが今回は異例でして
丁子部屋の男衆様が御用だそうです
!

丁子部屋…
月下の
居る部屋か
それは
興味深い

懇々

失礼します

！

雑話

雑話

待つの
ここ
神の皆様ー
今日は
来てくれて
ありがとーー!!
最後まで
一緒に楽しんで
なの☆
ライブ!?

第八輪「月下 其の参」
星梅（ほしうめ）
陽葵（ひまり）

吸すー
蛙は〜
鳴あ〜

頓トン
香シャン
天テン
頓トン

すごい…

こんな一度に大勢の福神を饗せるなんて…

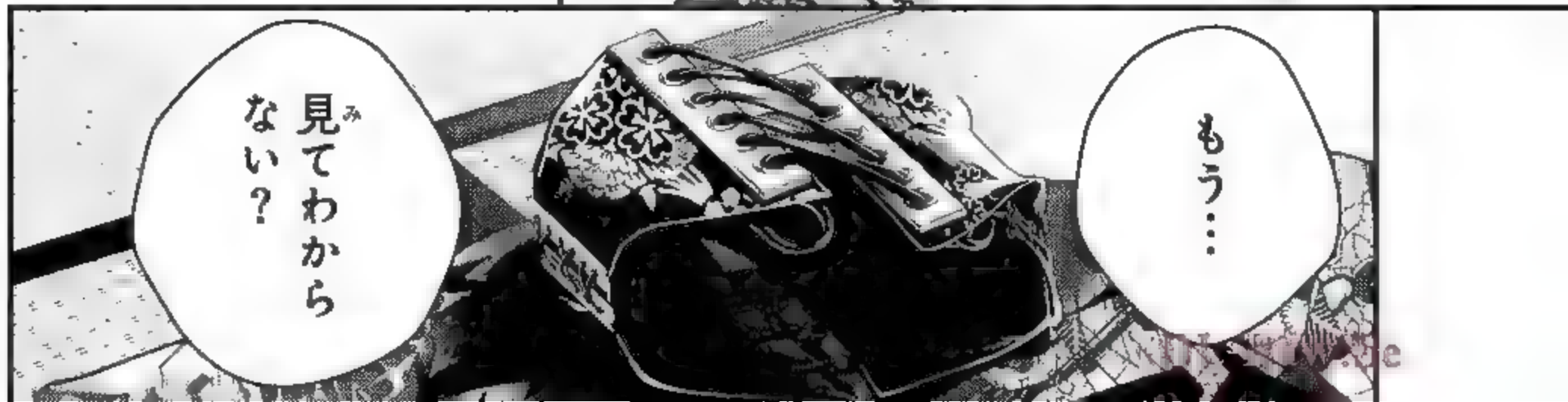
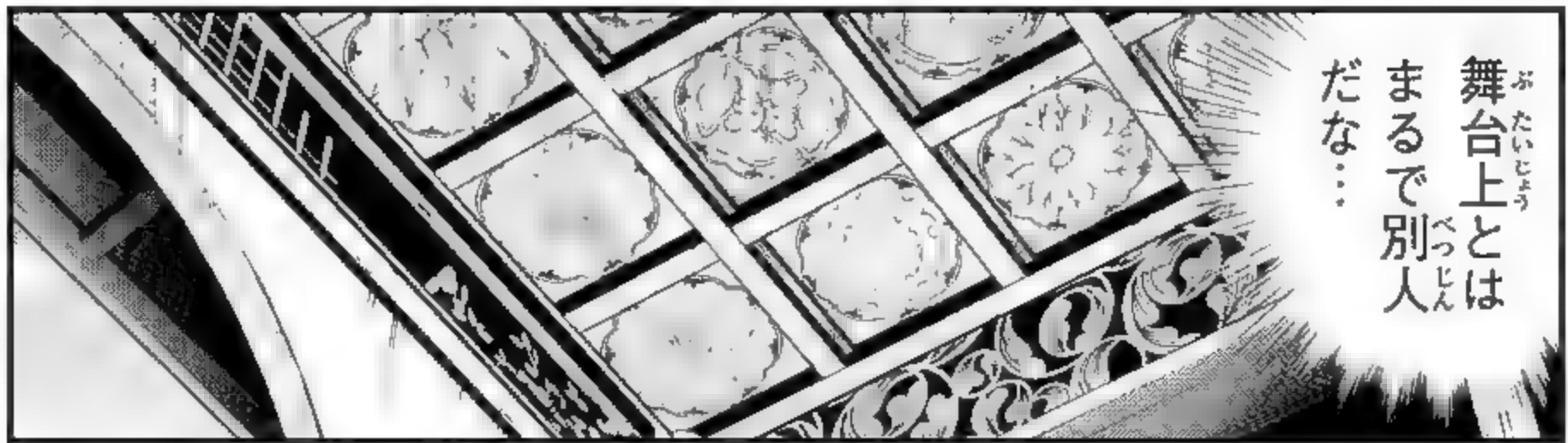
これがトップクラスの花巫女…

こんな人気者の姉妹が居たんじゃ月下さんの自信がなくなるのもわかる気がする…
ここが彼女達の楽屋か…
なんか緊張するな…

私達家族のことなんて何も知らないくせに…
いや…ビビってる場合じゃない…
月下さんに寄り添うためにはまず二人のことを知らないと…

懇々
あー入って来て

失礼します

あれ？
禿かと思ったけど
丁子部屋の
男衆くんか
まさか
こんな所にまで
押しかけて
来るとはね
まあ別に
アンタでも
いいの
すぐに解さないと
明日に残るから
早く処置して
あの…
処置って
一体何を
…？
初対面でも
この余裕…
流石 売れっ子
花巫女…
擦…
もう…
見てわから
ない？

按摩に決まってるだろう？
!?
いや…でも俺そんなことやったことないんですけど…
だから？
まさかそんな理由でこの疲れを明日に残せと？
君にその損害が補償出来るかい？
怖…

吐
アイツを追い出す為とはいえ…
なんであんな恥ずかしいことしちゃったんだろ…

あれ？月下ちゃんここに居たんですか？
何？どうしたの春椿
雑用なら私じゃなくて下男に頼みなさい
いえ…さっき新様が陽葵さんと星梅さんの所に行ったのを見たので
てっきり月下ちゃんも一緒だと思いまして…
！
月下ちゃん!?
だっ
まさかアイツ…
余計なことしてないでしょうね…!?

揉み

揉み

丁寧に解してくれよ？

他の花巫女と違って今君が触ってるのは

廓夜城の大事な稼ぎ頭なんだから

俺はこんなことしに来たんじゃないのに…!

ん…中々上手いじゃないか

鑢々
そういえば貴方丁子部屋で働いているようだけど仕事はどうなの？
中々大変じゃない？
はいまあ…
だったらそんな所なんて辞めてウチに来ない？
貴方優秀だし大歓迎なの
！

いえ…俺は丁子部屋の男衆です

他の部屋に行くつもりはありません

そうか

!?

いくら
人気の花巫女
だろうと
次に
丁子部屋の
子を…

月下さんを悪く言ったら
俺が許しません

いつぶりだろう…
天ヶ原部屋に行くのは…
あの二人…下男に私の悪口言ってないと良いけど…
次に丁子部屋の子を…
月下さんを悪く言ったら
俺が許しません
DL-Raw.Se

第九輪「月下 其の肆」

許さないとは
どういう
意味だい？

確かに
月下さんは
少し性格に
棘がある
そのせいで貴方達
二人のように
神様にチヤホヤ
されるのは難しい
かもしれない…

だけど俺は
彼女の手足を
見ました
貴方達にはない
筆だこ 撥だこ
それに正座だこ
それも昨日今日
出来たもの
じゃない
彼女が
努力家な
証拠です

俺は才能よりもそういう人の味方になりたい
そして最後に勝つのは彼女のような人であると信じています
だから彼女を見下せるのも今のうちだけだと思って頂きたい!!
ばーんっ
DL-Raw.Se

吹ぷっ

あははっ

キミなんか勘違いしてないか?

へ?

そう…むしろその逆

ボク達は月下が大好きなんだ
ほら見給え
いつあの娘がこの部屋に来てもいいように衣装の準備も万端だ
すみません…俺はてっきり不仲なのかと…
仕方ないさ

ボク達 天ヶ原神社一族の女子は代々花巫女になることを定められていてね…
茶道 華道 書道 舞 琴 三味線 囲碁 将棋に至るまで
ボク達三姉妹は幼い頃から花巫女としての教養を学ばされてきた
その中でもあの子は昔からなんでも出来る天才だった
けど悲しいかな花巫女に本当に必要なのはそんなものじゃなかったんだ
逆にボク達は芸事の才能がない代わりに"愛嬌"だけが取り柄でね
残念ながらボク達 花巫女に求められる才能はそっちの方だったのさ

部屋が変わって
そっけなくなった
のはアンタ達の方
からでしょ!?

月下!?

駄目じゃないか
そんな開けた格好で出歩いたら！
いつ福神に迫られるか…
アンタ達には言われたくないわよっ！

仲良くしたいなんて嘘！
最近じゃすれ違っても目も合わせてくれないくせに…！

“太夫級”にもなると威厳を保つ為他の花巫女の前でデレデレする訳にもいかなくて…
そうなの！遣手婆の奴ホント厳しくて…！
はあ!?
何よそれ!?

……もしかしてこの姉妹…

ホントにただ
すれ違ってた
だけ？

この部屋に来ないか？月下

！

楼主様ならボク達が説得する

家族一緒にこの部屋でやろう

そうなの！私達三姉妹でユニットを組めば最強なの

そうなるよな…誤解の解けた今月下さんが丁子部屋に留まる理由なんて…

いや…
それは
やめておくわ
なぜだい!?
ここなら
設備も
整ってるし
楽し放題
地位も
名誉もある
んだぞ?

今ここに来れば
家族のコネを
使ったことになる
そんなのは
嫌…

それに
今更
私を信じてくれた
人を置いては
行けないから

さ
帰るわよ
下男
あ…
ああ…

私は私自身の力で
アンタ達に
張り合えるように
なってみせるから

覚悟
してなさい

ただし…

ボクは絶対に諦めないよ
月下

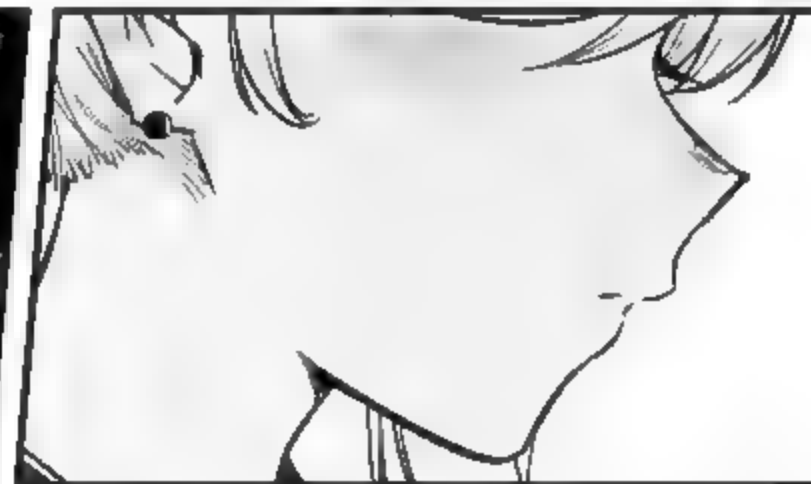
はー…っ
あんた本当バカじゃないの？

あの天ヶ原部屋に直接出向くなんてもうヒヤヒヤよ

済まない…相談せずに突っ走って…

なんてね

アンタのお陰でなんかスッキリした
ありがと

けど移籍の話は本当に良かったのか？
せっかく姉妹なのに
まあね
姉妹だって距離を置いた方が良い時もあるのよ

アンタも…そういう時期があったんでしょ？
雛菊から聞いたわ

雛ちゃん…そんなことまで…
とにかく…愛嬌が足りないって言うなら努力で補うしかない
がっ
柄っ

そういうことだから
あんたにも手伝ってもらうわよ
これは…？
ずしっ
重っ

もー鈍いわね
必要なんでしょ？丁子部屋の売り上げが
私も協力するって言ってんの

出来るかなんて

やってみないとわからないでしょ？

まさか君の口からそんな言葉が聞けるなんて…

別にアンタの為じゃなくて私自身と丁子部屋の為なんだから

泣かないでよ気持ち悪い！

はぁ
吐〜〜っ
不覚にも久々に見ちゃった…兄さんの裸…
昔とは全然違う…

あっ…当たり前だよね
もう私達子供じゃないんだから…

そう…昔みたいな関係にはもう…

RawLazy.Com

最近兄さん
丁子部屋に
つきっきりだし
同じ廓夜城に
住んでるのに
一緒に居る時間を
作るのがこんなに
難しいなんて
想定外…

隙っ
!

外での
任務…?
奉納刀の
回収以来
ね…

不知神社ニテ
福神ノ扶共アリ
討伐ヲ要請スル

そうだ…!
良いこと
思いついた…

第十輪「不知神社 其の壱」

外での仕事？

弾

はい
以前お話しした
禍神の討伐なん
ですけど

是非 兄さんにも
ついて来て
貰いたいと
思いまして

いいけど…
なんで
俺なんだ？

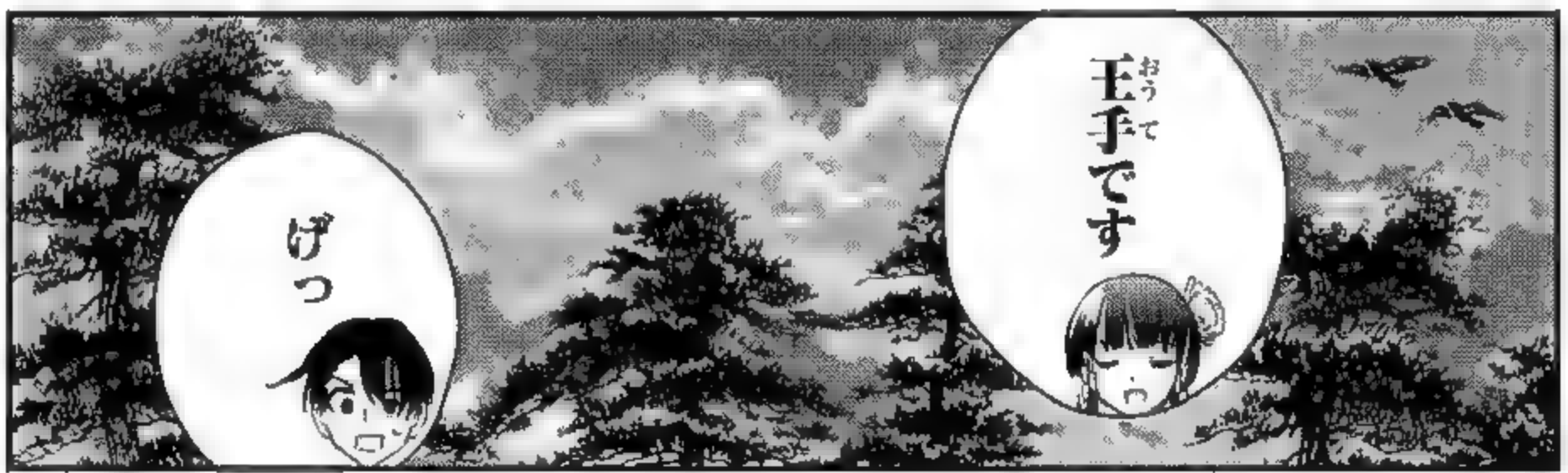
他にもっと
戦力になる
花巫女の方が…

その研修って他の子も参加していいか？
他の子…ですか？

まあ大丈夫だとは思いますけど
それはさておき…

王手です
げっ

外か…そういえばあの日以降一歩も廓夜城の外に出てなかったけど
禍神を倒しに行くのも花巫女の大事な仕事なんだよな…

お待たせしました兄さん

雛ちゃん!?
その格好…
もう何驚いてるんですか?
いや…
そんな服持ってたなんて知らなくて…

当たり前でしょ 普通の服くらい持ってるわよ
あんな格好で外に出たら目立ち過ぎるじゃない
よろしくお願いします
!

けど外に出られるなんて久しぶり…！
泣く程!?

ここは外出の許可に厳しい手続きが必要なので一部の優秀な花巫女しか出入りは難しいんです

そんな厳しい決まりがあったのか…
あと兄さんこれを

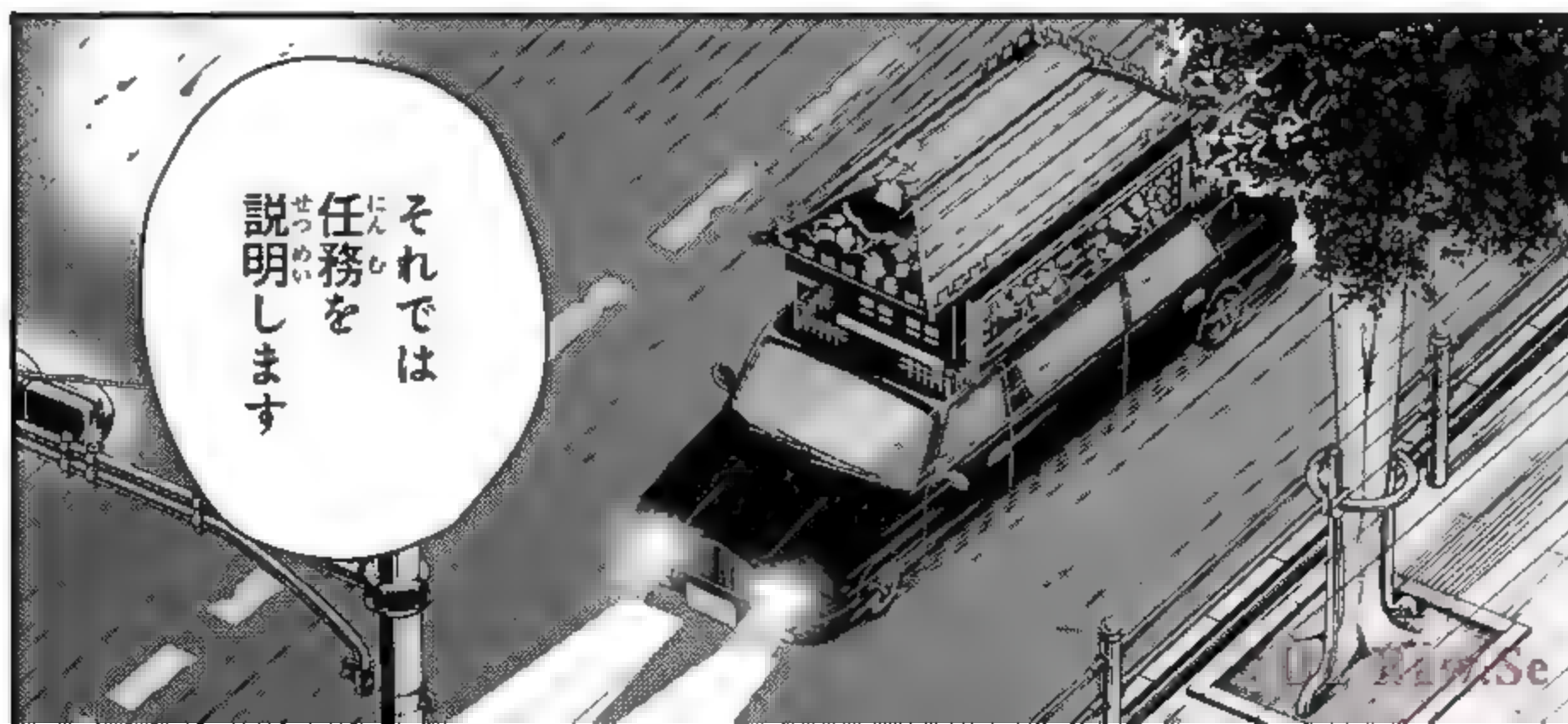
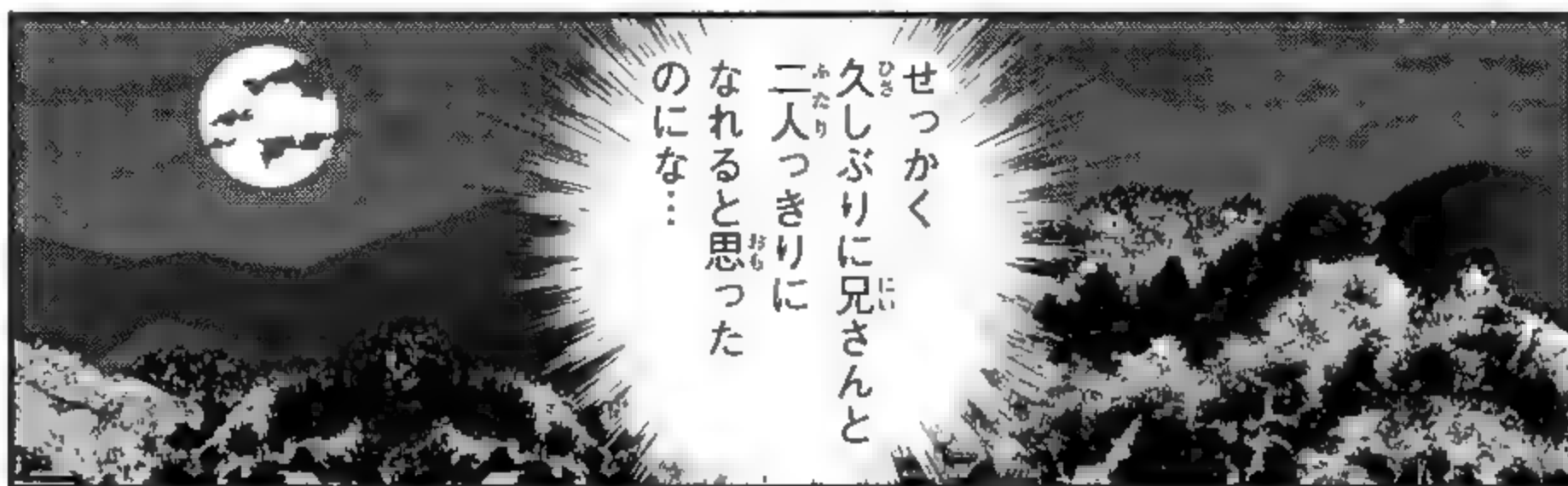
!
これって…ウチにあった奉納刀…？

お節介だとは思いますが遣手婆様が兄さんに護身用として持たせろと
そっかありがとう
奉納刀とか大丈夫なのか…？

さ　早く行くわよ
久々の外なのでちょっと緊張してきました…
別に遊びに行くんじゃないからな二人とも

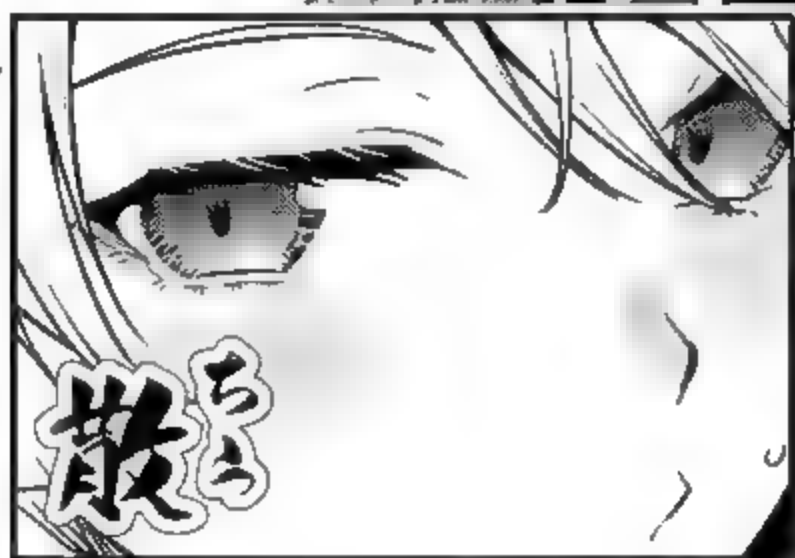
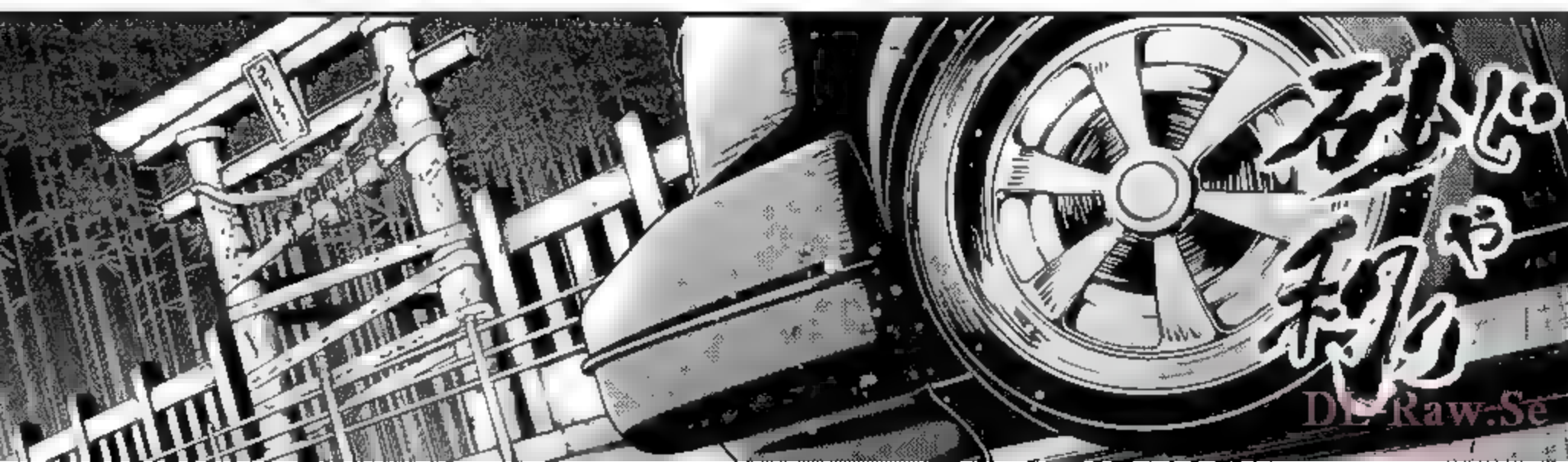
はー　全く…

せっかく久しぶりに兄さんと二人っきりになれると思ったのにな…

それでは任務を説明します

神社庁から禁足地に指定されている不知神社の外で禍神の目撃情報があるとの報告を受けました
そこの禍神を排除し中の穢土との門を閉じることが今回の任務です
福神のハイヤー…？
そんなの楽勝ね
なんたって私には福神から貰ったこの神符があるんだから
ひらっ
月下ちゃんいつの間に…
ふっふっふ私がお襲しをして稼いだのよ
ちら

すごいじゃないか月下さん

まあ私が本気を出せばこんなもんよ

……

ここがその禁足地…
なんか迫力あるな…
ざあ…
さ 怯えてないで中に入って着替えますすよ
今から!?
そりゃあ禍神は夜にしか姿を現しませんから
まあそんな気はしてたよ…
ミ

大丈夫

俺達がついてる

はい…
ありがとう
ございます…

がさ

！

今何か物音が…

なんだ
ただの
カラスさん
でしたか

きゃああっ
禍神!?

掛けまくも
畏き
祓戸大神よ

諸々の
禍事罪穢
有らむをば

祓へ給へ！

やった
春椿！

流石です
月下ちゃん

ナーイス

気を抜かないで
それは本体じゃない

へ？

ぎゃ〜〜〜っ

さ…流石にあんなにデカイのは無理…
窮きゅっ
ぴき
ちょっと貴女達…
流石にそれは
―

くっつき過ぎじゃない!?

良かった…
俺の出る幕は
なかったか…

凄い…

やっぱり
頼りになります
雛菊ちゃん

あんな大きい
禍神を一撃
なんて…

た…
助かった
わ…

別にお礼を
言われること
なんて何も
ないから

？

ぷい

なんなの
この気持ち…

これって
もしかして

私…

あの二人に嫉妬してる…？

今夜どこかに泊まって行きませんか？

今夜は泊まるって…
魁の花巫女

未成年が外泊なんて叔父さん許さんぞ!!
何を想像してるんですか?

安心して下さい
ちゃんと花巫女公認の宿ですから

ちょっと今泊まるって言った!?
まだ帰らなくていいなら私も賛成!
はいはい…

第十一輪
「不知神社 其の弐」

ここってどう見ても神社だよな

お待たせしました花巫女様

御夕食で御座います

ありがとうございます神主さん

じゃん

それでは後ほど厄除けの神符をお渡ししますので

それを使って頂ければもう禍神が出てくることもなくなります

感謝申し上げます

これでまたこの神社も参拝客をお迎え出来ます

……

あんまり気にしたことなかったけど

実は花巫女のお陰で俺達は平和に暮らせてたんだな…

はー 食べた食べた
お風呂まで頂いちゃって本当に良いんですかね？
仕事で汗かいたばっかだし丁度良いじゃない

そうそう
一緒に居た彼　貴女達の男衆なんだってね
私が居た頃には考えられなかったわ
私が居た頃……？
実はね私も元花巫女なの
だいぶ前の話だけどね
彼良いヒトそうだけど
彼女とか居るのかしら
!?
いっ居る訳ないですよ兄さんに限って…！
そうなの？
私だったらほっとかないけどな
だけど自分の気持ちに正直にならなきゃ駄目よ？
ただでさえ花巫女には出会いなんてないんだから

私…兄さんのことどう思ってるんだろ…

泡ぶくぶく

血が繋がっていないとはいえ私たちは叔父と姪…

私…

でも兄さんを見ていると不思議な気持ちになる…

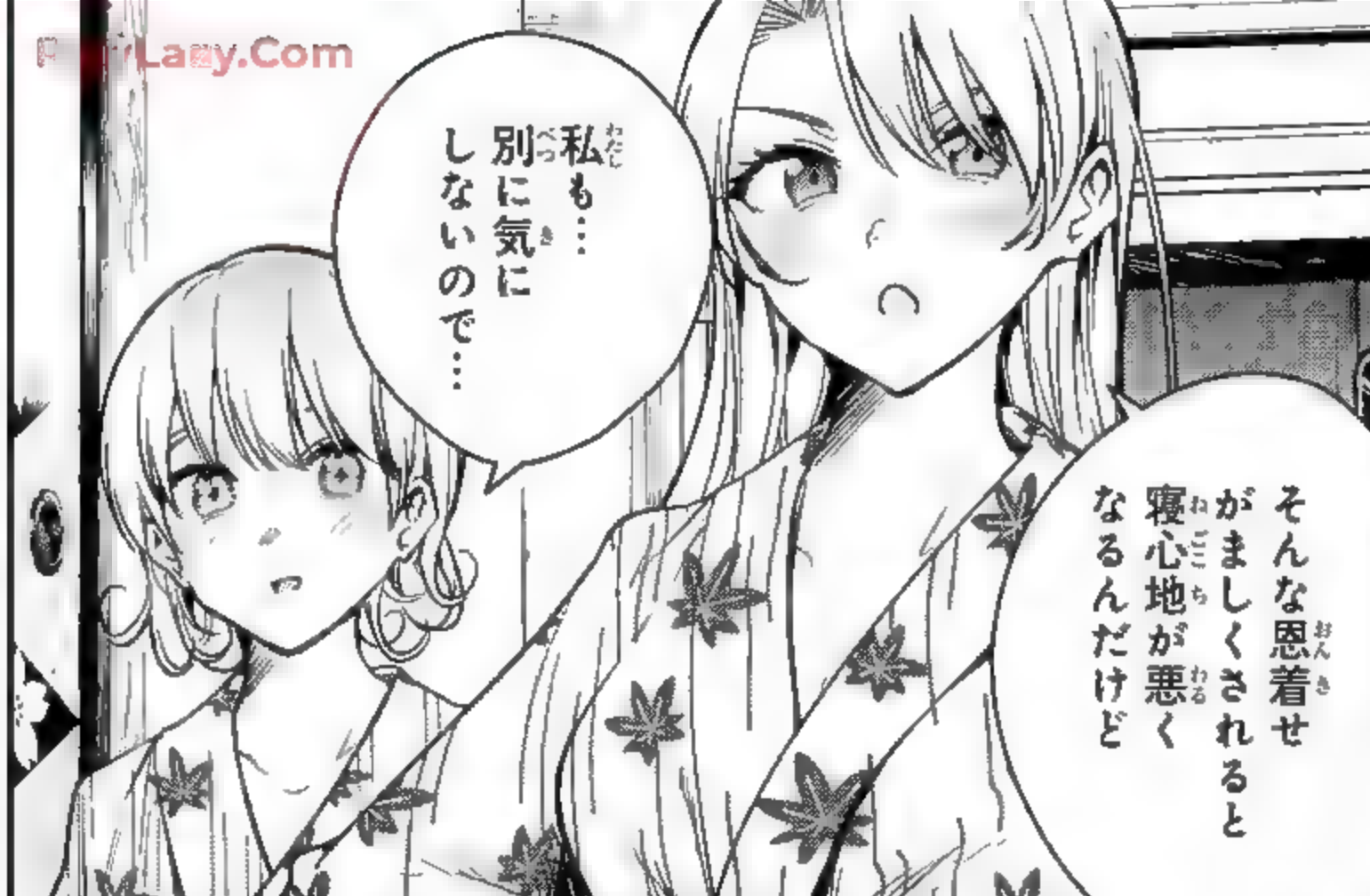
花巫女様方
お布団のご準備が出来ました

ありがとうございます
えっと…

この一部屋だけ？
すみません
なにせ小さい神社なもんで使える部屋はここしか…

仕方ないな…
俺は廊下で寝るからこの部屋は３人で使ってくれ

ちょっと待って
そんな恩着せがましくされると寝心地が悪くなるんだけど
私も…別に気にしないので…
大丈夫私が隣で寝て見張るから
あっ勝手に寝る場所決めないでよ！
んなこと言っても…
別にどこで寝たって一緒でしょ？
なら取ったもん勝ちよ

そ
わかった…

二人が
兄さんのことを
どう思ってるか
わからない…

でも一つだけ
はっきりして
いる…

ーそれは

私が一番
兄さんの近くに
居たいってこと！

ちょっと
何すんのよ!?
取ったもん勝ちなんでしょ？
それじゃあ私の勝ちね
私に喧嘩売るなんて
覚悟はできてるんでしょうね？
うりゃあああっ
はあああっ
疎々と

おやすみなさい
こてん
ちょっと春椿アンタまで!?
おいおい…たかが寝床ぐらいで騒ぎすぎだろ…
たかが寝床とかデリカシーなさ過ぎ!
これは大事なことなんです邪魔しないで下さい兄さんっ
もう朝ですか…?
お前ら…いい加減に

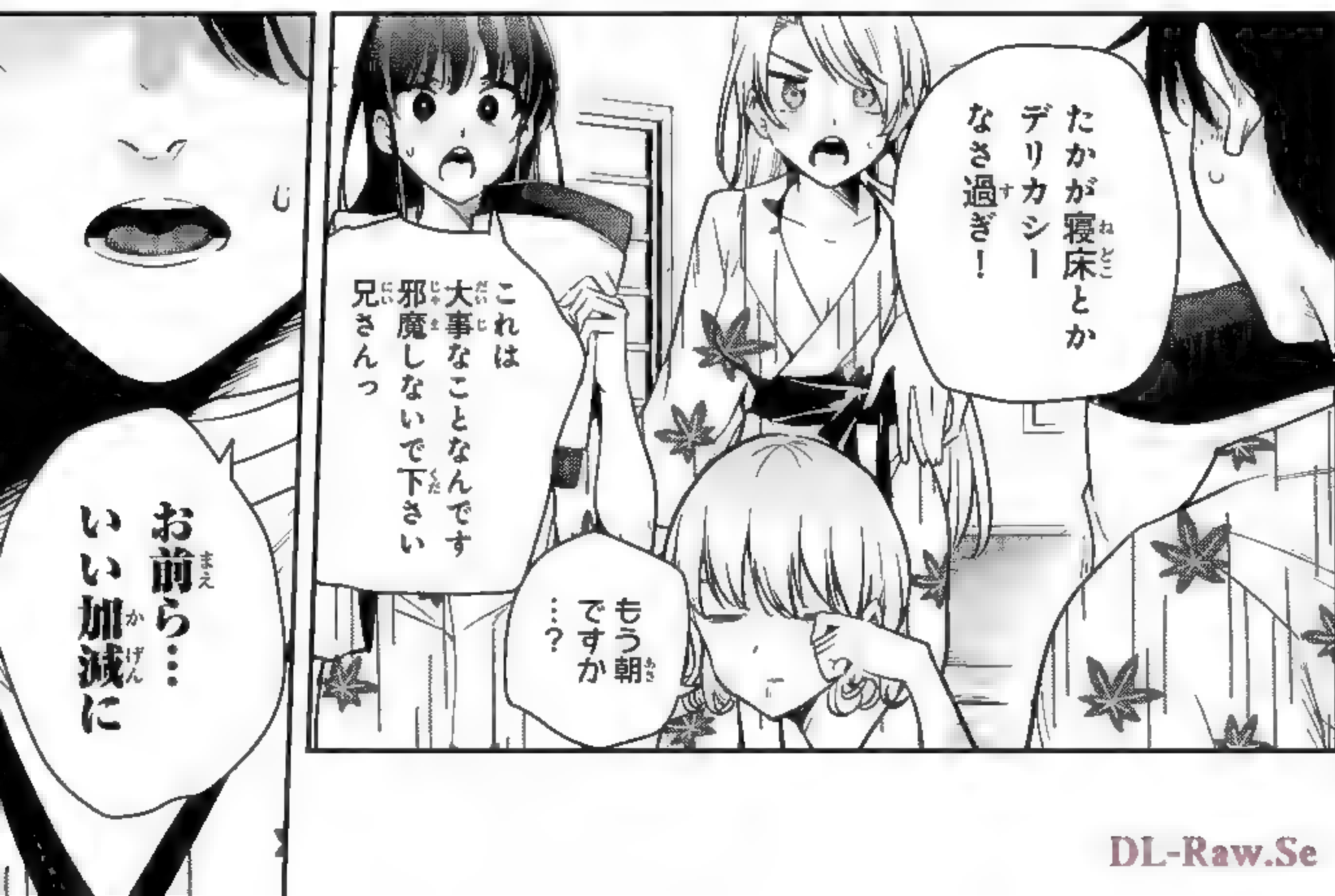
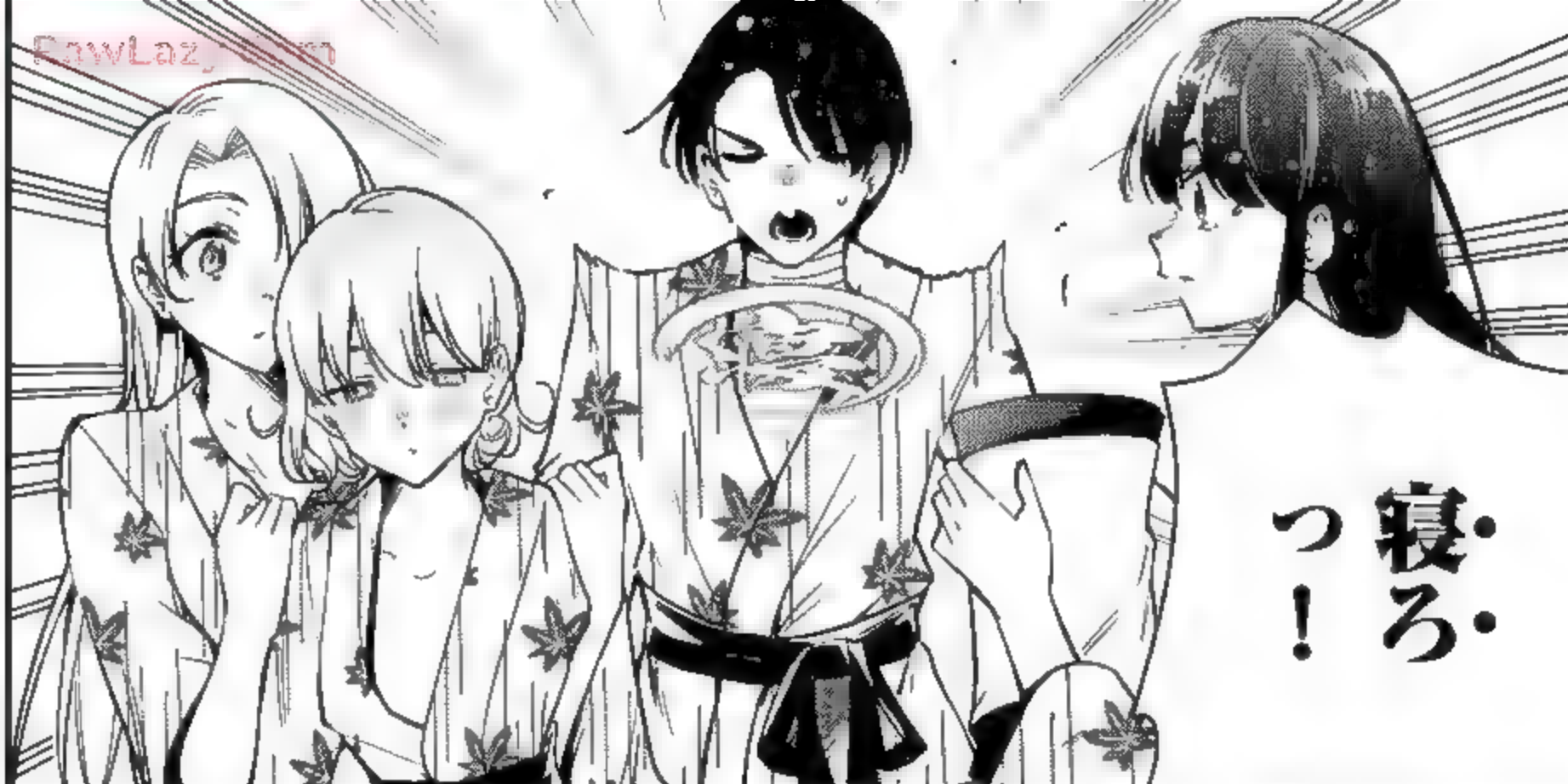
すやぁ

やべ… また思わず 魂を使っちまった…
けど なんでだ…？

最近 魂を使うと急に 身体が…

ん…
いつの間に 私 寝ちゃって…

兄さんっ!?

離ばっ

そっか…
昨日 枕投げの後
すぐに寝ちゃったんだっけ…

動悸
動悸

でも…
なんでこんなに
ドキドキしてるんだろ?

ただ家族と
一緒に寝ているだけで
昔はこんなこと
なかったのに…

ふふっ

昔みたいにくっついて寝てもいいですよね

んーっ

おはようございます兄さん
おはよう雛ちゃん
随分早いな
どうしたんだ？
顔赤いけど
いえっなんでもありません…
良かった…昨日添い寝したことに気づいてないみたいで…
？
ほっ
花巫女さん方朝ごはんのご用意が出来ましたよ
あっありがとうございます奥様

これでもう
ここに禍神の
心配は
ありません

本当に有り難う
ございます
花巫女様

せっかく
外に来たからには
遊んで帰らないと

第十二輪「春椿 其の肆」

久々の街…
ホントですね…

東京はもっとすごいぞ？
いつか任務でいけるといいな
はい！

皆お金は持ったわね？
それじゃあ…

後は自由行動で
へ？

修学旅行じゃないんですから自分がしたいことをするのが一番かと
こういうのって皆で回るもんじゃないのか？

けど…皆一人で大丈夫か？春椿さん…

はい新様のお陰で少しは慣れましたし

新作スイーツ食べ歩きしたい欲の方が強いので
たら～り
それはよかった…

それじゃあ私はエステとネイルと美容院にでも行こうかしらね
よし…思った通りこれで兄さんと二人きりに…

それじゃあ雛ちゃん
俺はちょっと図書館で調べ物があるからまた後で
えっ？

いや…諦めるな私
外で兄さんと二人きりになれる機会なんて滅多にないんだから…

このチャンス絶対逃さない……!!

市立図書館

かたかたかた
片々っ

ogle
魂 楼主
たんっ
魂 楼主 に一致する結果が見つかりません。

やっぱり何も出てこないか…

最近 謉を使うと気を失うことがあるけど…

あれは一体なんなんだ…?

よし… 兄さんは一人…

このまま偶然を装って声を…

あの… 新様

吃驚

うおっ!?

すみません 急に声をかけてしまって…

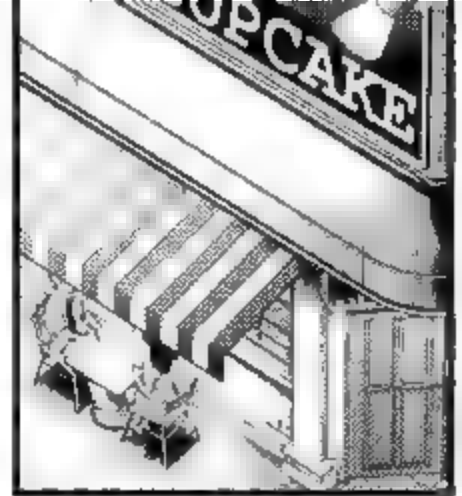
なんだ… 春椿さんか…

!?

なんで
ここに
春椿が…
食べ歩きする
って言って
なかったか？
そのこと
なんですが…

少し お願い
したいことが
ありまして

？

気になった
お店がある
んですが…
どうやら二人だと
安くなるみたい
なんです
恥ずかしながら
私 お小遣いが
少ないので一緒に
来て割り勘して
頂けると…
丁度 俺も何か
食べたいと
思ってたし
良かったよ
まさか…
春椿も私と
同じ考えだった
ってこと…!?

え…えっと…

すみませんっ勘違いしてました…

信じて下さいっ

別にそういうつもりで誘った訳じゃなくて…

わかってるって…!

そもそもこの歳の差じゃそんな風には見えないだろ

俺がおごるから気にするな
好きなんだろ？甘いもの

美味しかったよ
誘ってくれて
ありがとう
春椿さん

こちらこそ
ご馳走様でした
新様

まあ念の為
最後まで
見届けるけども

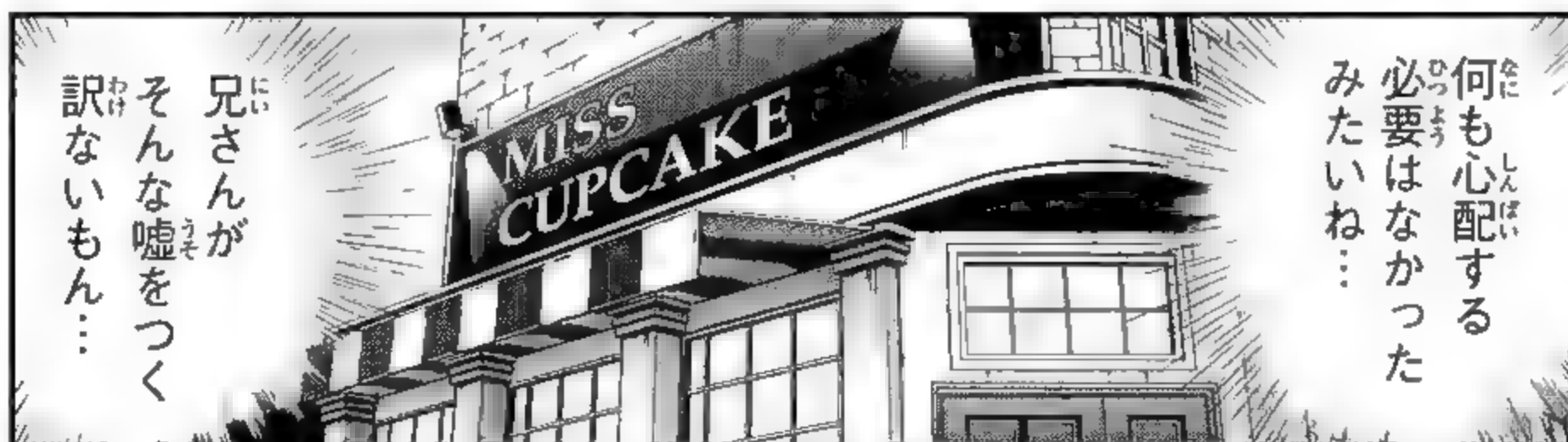
んー
えっとさ

新様って
言うのは
やめないか？

別に俺が偉い
訳じゃないんだ
だし

いやでも…
他になんて
呼べばいいか
わからなくて…

別に呼びやすい
呼び方なら
何でもいいよ

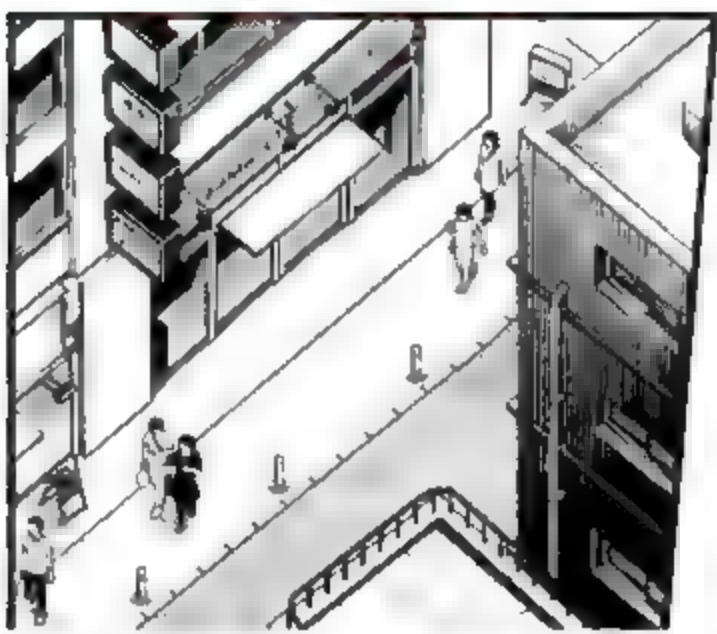
わ…わかりました…
それでは雛ちゃんにならって

お新ちゃんと…

それでは私は他のお店に行ってくるので失礼しますね

お新ちゃん

まだ食べるんだ

ちょっと図書館に居るんじゃなかったの？

月下さん

あの二人…
一体どこへ
…？
!?
こ…
ここって
…!?
HOTEL
ご宿泊
受付17時より
チェックアウト13時
¥6,900～
ご休憩
¥2,900～
¥4,900～
OTEL
ovely

そんなの絶対に許さない…！

ちょっとお嬢さんこんな所で一人で何やってるの？
誰かと待ち合わせ？
なっなんでもありませんっ
あっちょっと君！

第十三輪「月下 其の伍」

さ 着いたわよ
けど わざわざ あんな所 通らなくても別の 道があったんじゃないか…？
うるさいわね
遠回りなんてしたら時間がもったいないでしょ？
そりゃあ男手が必要だからね
だったら俺なんて待ってないで買い物くらい一人ですれば良かったのに
ENTRAN
I JAPAN
DL-Raw.Se

可愛い〜っ

これとこれも試着追加で
男手ってこれのことか…

これ全部試着するのか？
当たり前でしょ？
外に出られない間に出た新作ばっかなんだから

ちょっと
何か一言くらいないの？
悪い…ファッションには疎くて…
ん？
そういえば少し髪切ったか？
そこ!?

はあっ…
はあっ…
しまった
見失った…！
このデパートに
入った所までは
見たんだけど…
どこ行ったの
二人共…？
思わずつけて
来ちゃったけど
どこ行くか
くらい確かめ
とかないと
！
雛菊…
なんで
ここに…
昨日のことで
アイツに気が
あると思われた
っぽいし
今
見つかるのは
面倒――
くいっ

ちょっ 月下さん!?
いいから じっとしてて
ちょっと知り合いが居てさ 見られる訳にはいかないの
んなこと言っても――

それとも何？

この状態で見つかってもいいの？

ふうっ…行ったみたい…

それじゃあ着たやつは一旦戻してきてくれる？
盛りっ
いや結局買わないのかよ!?

おかしいと思ったんだよ
こんなに沢山買える訳ないもんな
そりゃあ こんな沢山の私服持ち込んだら遣手婆に怒られちゃうし

失敬ね！今買わないだけでお金くらいあるわよ
いつかまた買いに来るんだから
ホントかぁ？

これくらいいいでしょ？
だって…

また今度いつ外に出られるかわからないんだから…

……

ちょっとどこ行ってたの？
ちょっと買い物にな
それじゃあ はい チーズ
えっ？ えっ？
って何させるのよ!?
パシャ
うん ちゃんと撮れてる

なんでこんなのを…

ほらこれ

！

店員さんに聞いたら一枚くらいなら試着のまま写真撮っていいっていうからさ

写真なら向こうに持っていけるし

良い思い出になるかと思ってさ

……はー……

こんなのが代わりになる訳ないでしょ

それにブレてるじゃない

ちょっと貸して

ああ…

貼写っ

うん
こっちの方がいい
そっすか…
どんな風に撮れたんだ？見せてくれよ
はぁ!?嫌よっ

別に良いだろ？
俺が買って来た訳だし
だからってプライバシーがあるでしょ!?

ひらひら
枚々
あっ

これって…

第十四輪「神代雛 其の弐」

これって…

ひっ雛偶然ね……！
離ばっ
雛ちゃんどうしてここに？
買い物に来たら二人の声が聞こえて…
兄さん達の方こそ何ですか今の写真…？

記念って…

兄さんが
月下との
ツーショットを
……!?

やっぱり
デートだった
ってこと…!?

それじゃあ
ごゆっくり!!
駄だっ
雛ちゃん!?

どうしたんだ…?
さ…さあ? もしかしてデートだと勘違いしたんじゃない?

んな買い物くらいで大袈裟な
私に言わないでよっ!

けど なんか変な誤解されたみたいだから ちょっと話してくる

誤解…

！どうした？
誤解を解くくらいなら
いっそのこと誤解じゃなくすればいいんじゃない？
なんて言える訳ないでしょっ！
なっなんでもない…！
？

落ち着いて
私…
動悸
所詮
あの二人は
叔父と姪…
動悸
仲が良いのは
当たり前よね

って何
気にしてるの!?
これじゃあ私が
アイツのこと気に
なってるみたい
じゃない……!

どこ
行ったんだ?
雛ちゃん…
I JAPAN

居た…！

I JAPAN
どうしたんだ雛ちゃん

追いかけて来なくてもいいです
I JAPAN

せっかくの二人の楽しい時間がもったいないですよ？

えっと…何の話かな？

なんだ…そのことか…

あれはそんなんじゃなくて二人の頼みごとを聞いてただけだよ

だとしても…兄さんも悪い気はしなかったんじゃないですか？

まあ確かに
そうかもな

お陰で
お土産も買えた
ことだし
？

これ
って…

カップケーキ…
私の分買って
おいてくれたん
ですか…？
ああ
お腹空いてる
かと思ってさ

あとコレも

！

最近雛ちゃんには色々世話になってるからお礼したくてさ

月下さんが廓夜城に外の物を持ち帰るのは厳しいって言うけどこれなら似合うと思って

雛は唯一の俺の家族なんだ

どんな時でも一番大切な家族のことを気にかけない訳ないだろ

ありがとうございます…

どうです？似合ってますか？

それじゃあ

昔みたいにギュッて
してくれたら
許してあげても
いいです…

はっ

そういえば
懐かしいな
昔はこうやってよく抱っこしたっけ
へ？

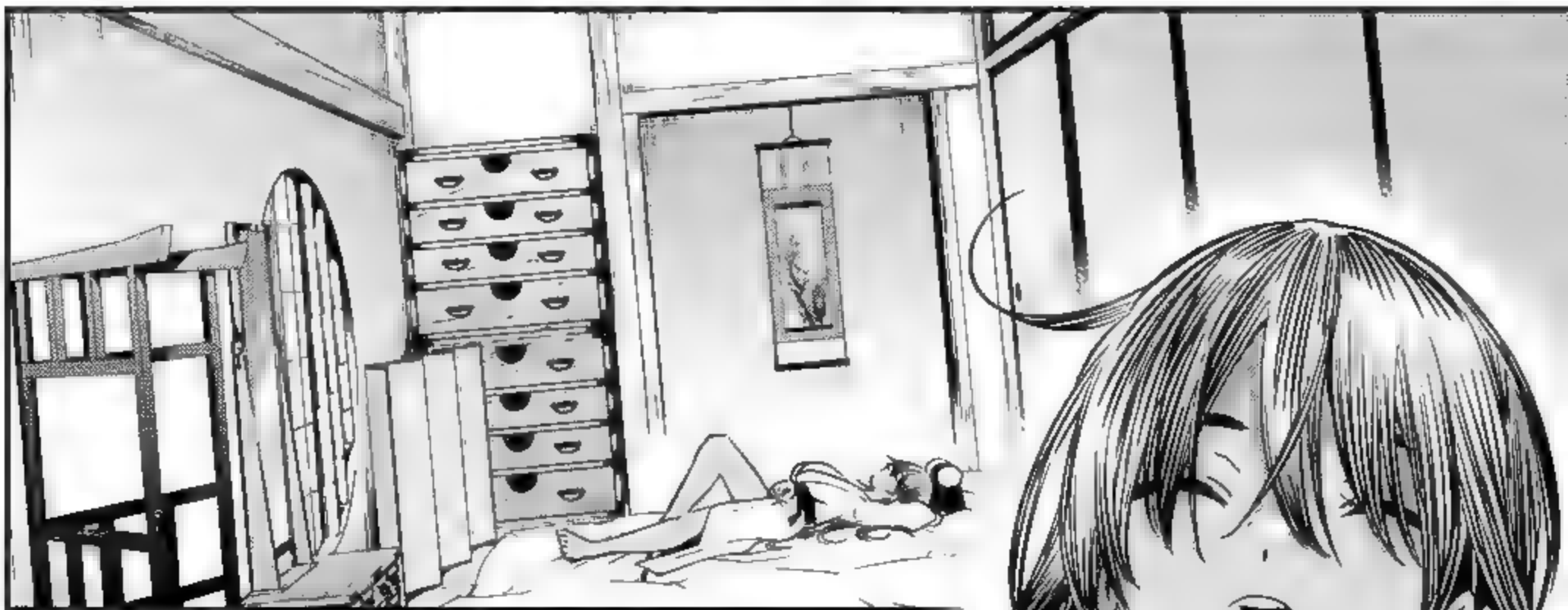
抱っこ≒ハグ

だけどまあ
しゅる

は－…
まだ子供扱いか…
？
I JAPAN

理由はどうあれ
兄さんに
一番って言って
もらえたし

今回は
兄さんのこと
誘って良かったな

それじゃあ
帰りますよ

ふあーっ

あれ？月下と春椿はまだ帰ってねーのか？

さあ？

二人は雛菊と男衆と外の任務で昨晩は外泊したらしいしそのうち帰って来ますわ

男と外でお泊まりだぁ!?
許せん!
箱ばり育ち
稲妻
所属:丁子部屋
生まれ:廓夜城
外出経験:ゼロ
DL-Raw.Se

舌々

あははっ ちょっとくすぐったいって

ふうっ
二人とも順調に稼げるようになってきてなんか嬉しいな
この間の帰り雛ちゃんに色々アドバイス貰ったお陰かも

俺もだんだん仕事にも慣れてきたし
どうにかやっていけそうだ

にゅっ
男衆様
うおっビックリした
楼主様がお呼びです
!

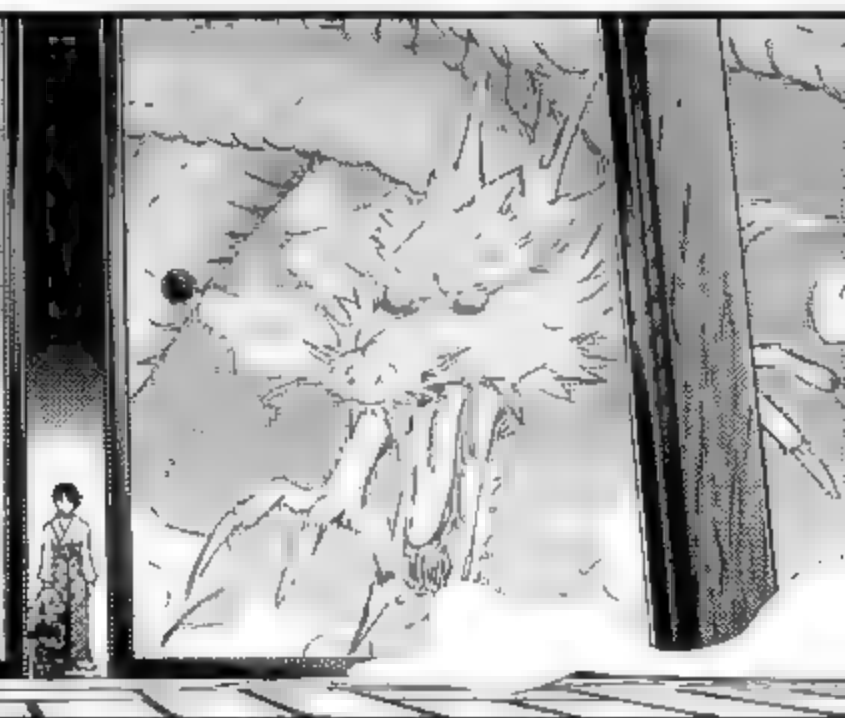
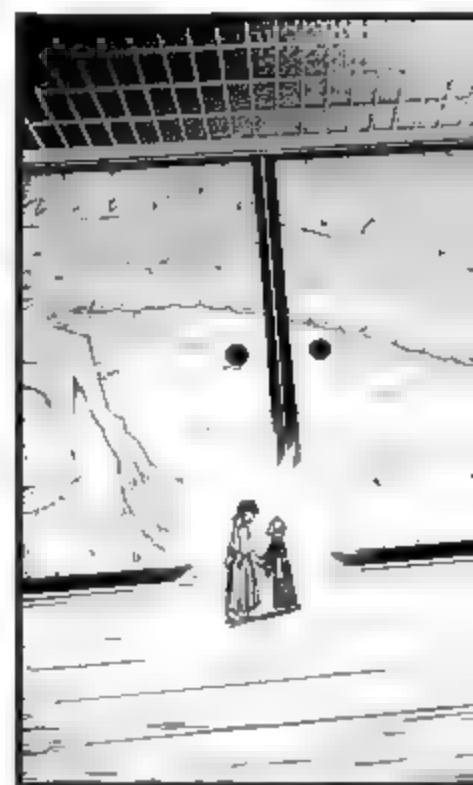
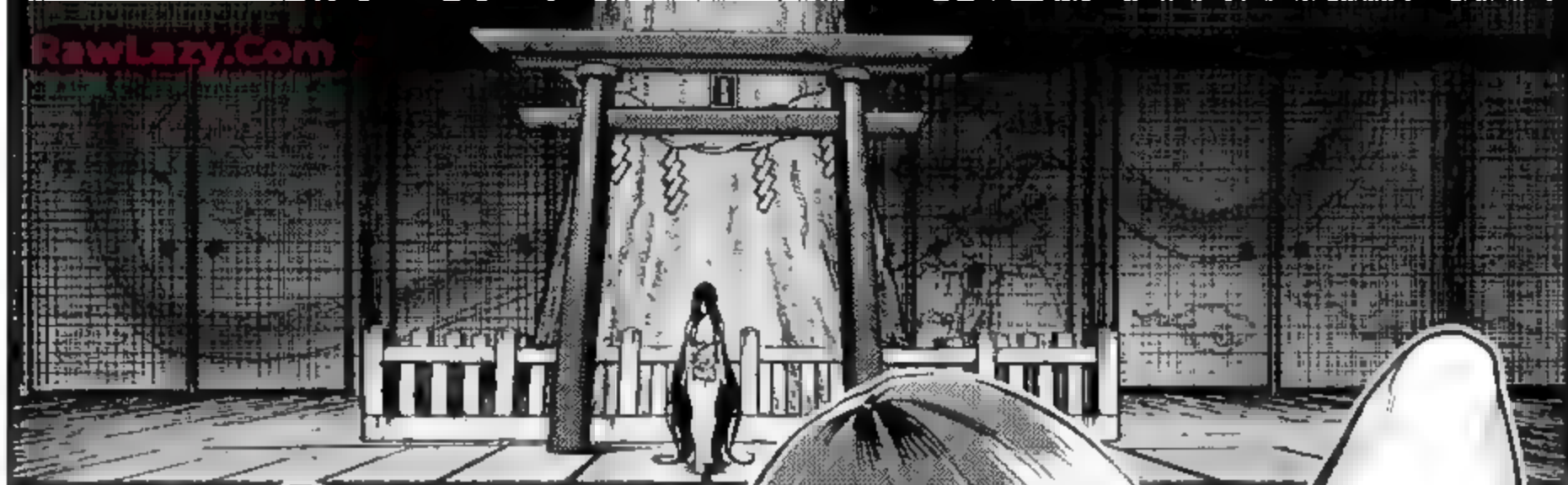
第十五輪『高嶺』

此方です
引っ張らなくても迷ったりしないから

にしても楼主様が一体何の用だろ？
期限までまだまだあるし

もしかして仕事が順調過ぎて褒められたりなんて
それはないか…

失礼致します

！

広……
本当に室内か……？

申し訳ありません
こんな格好で
なにぶん
忙しいもので
いえ…
けどすごい
部屋ですね…
ええ先程まで
〝一等神〟の御客様の
相手をしておりました
ので

そうですか

よく頑張りましたね

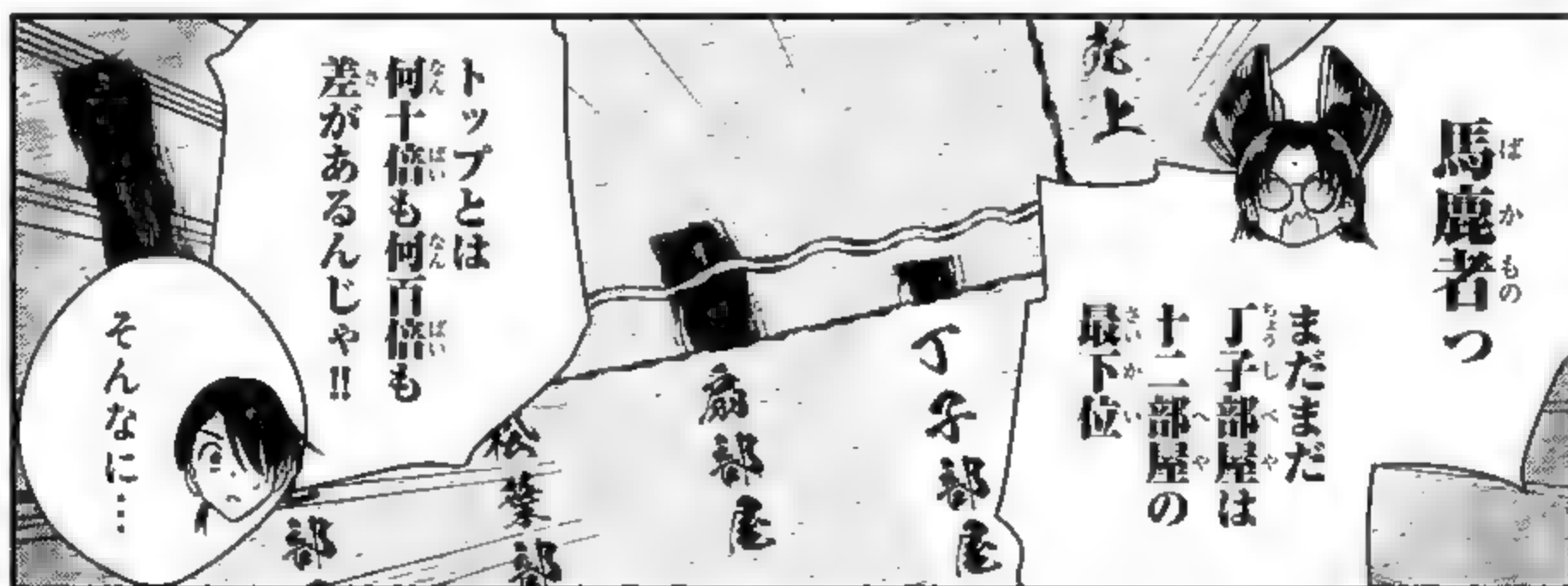
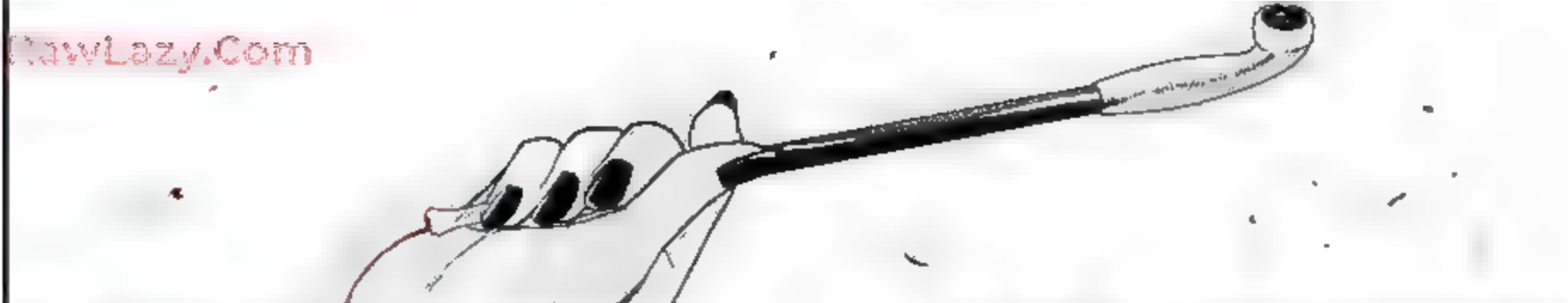
動悸の

なんだこの感じ…

初対面の時と全然 印象が違う
身を捧げたくなるような柔らかな声
全てを包み込むような甘い香り
これが現楼主高嶺様の包容力――

頭が高い
ぱあん
痛っ
すみません遣手婆さん…
婆さんではなく姐さんじゃこのたわけがっ

それになにが順調じゃ貴様丁子部屋と他の部屋の差がどれくらいだかわかっておるのか？
えっと…倍くらい？

馬鹿者っ
まだまだ丁子部屋は十二部屋の最下位
丁子部屋
扇部屋
松葉部
トップとは何十倍も何百倍も差があるんじゃ!!
そんなに…

もしかして
貴様
多少 稼げるようになったからといって
調子に乗っとるんじゃないかの？

ぎくっ
それは…

目標は全部屋トップじゃろ？
たった二人に信用されたくらいで
あまり花巫女を舐めるんじゃないぞ？
すみませんでした…

まあまあ
貴方様も頑張っていますものね？
良し良し良し
た…高嶺さん……？

様を付けんかこのクソたわけがっ!!
ずみまぜんづ
そうだ…どんなに甘い言葉を言われたとしてもあくまでこの人と俺は楼主の座を争う敵同士…
気を許す訳には…
あら
何か勘違いされているみたいですが
私は貴方様こそ真の楼主に相応しいと思っておりますのよ?
!

でも…俺を追い出そうとしてるんじゃないんですか…?
あら?そんなことを言った覚えはありませんけど
むしろ貴方様には真の意味で楼主に相応しい男性になっていただかないと困るのです
それってどういう…

楼主様…
そろそろ
もうそんな
時間ですか？
まだ
話し足りないし
もう少しいいじゃ
ないですか

そういう
訳には
いかんのじゃ
さ
次の仕事の
準備準備
あ〜れ〜
……

ああそれと
最後に一つ
最近〝誂〟を
使って違和感を
感じたことは
ありませんか？
なんで
そのことを…

あの力の原動力は貴方様の生命力そのもの

使い過ぎると寿命を縮めることになりますから

くれぐれも〝魂〟の使い過ぎには注意なさって下さい

一位になるのは
そんなに簡単な
ことじゃないとは
思ってたけど
改めて現実を
知るとなんか
不安になって
きたな…

ん？

痛っ

すみません
大丈夫ですか？
あーあ
せっかくの
いい酒が台無し
じゃねーか

詫びなら身体で払ってもらおうか
!?
第3巻につづく

Special illustration

2025年4月9日(水)発売予定!

初めての「男」
あっ♡
なんだ…？この感じ…
何か来る…
果てろ
どくん
「稲妻の欲求を満たすため」
新は己の「手」に全てを託す！
っっっ♡♡♡
単行本では■部分、全て丸見え！
エロさ増し増しでお届けします♥
■楼主になるため
魁の花巫女③
DL-Raw.Se

編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
また「講談社コミックス」にまとめてほしい作品がありましたら、編集部までお知らせください。

〈あて先〉
〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 講談社
週刊少年マガジン編集部「少年マガジンKC」係
なお、お送りいただいたお手紙・おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて
著者にお渡しすることがありますので、あらかじめご了解のうえ、お送りください。

★この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・出来事などとは一切関係ありません。

作品初出／マガジンポケット2024年8/14号～10/16号

KCDX 週刊少年マガジン

魁の花巫女②

2025年 1月 8日 第1刷発行（定価は外貼りシールに表示してあります）

著 者 きただりょうま

発行者 安永尚人
発行所 株式会社 講談社
〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21

印刷所 株式会社新藤慶昌堂
本文製版所 株式会社二葉企画
製本所 株式会社フォーネット社

N.D.C.726 191p 19cm Printed in Japan ISBN978-4-06-538052-9

きただりょうま

埼玉県入間市出身

きただりょうま作品

【KCDX】
「魁の花巫女」1〜以下続刊

【JUMP COMICS】
「μ&i」全6巻
「ド級編隊エグゼロス」全12巻
「ユメオチ〜ユメで僕らは恋にオチる〜」全4巻

【電撃コミックスEX】
「心にやさしい単行本〜即オチ2コマ劇場〜」全1巻

【角川コミックス・エース】
「見知らぬ女子高生に監禁された漫画家の話」1〜以下続刊

カバー表紙折り返し

カバー裏表紙折り返し

cover design : Tadashi HISAMOCHI (hive&co.,ltd.)

魁の花巫女 2
きただりょうま
SHONEN MAGAZINE COMICS
本体表紙

本体裏表紙

唯一の家族・雛を守るため
花巫女達が働く〝廓夜城〟の楼主を
目指すことになった神代新。
楼主になる条件は、売り上げ万年最下位の
問題児軍団「丁子部屋」を廓夜城一にすること。
まずは彼女達の信頼を得るため、
男衆として働き始めるが、
反発する月下が新の追い出し作戦を画策し…⁉

手を出したら即アウト！
美少女達の誘惑に耐えられるか‼
恋にバトルに全力の花巫女ファンタジー！

魁の花巫女
さきがけのはなみこ
2
きただりょうま
KC DELUXE
手を出したら即アウト！
美少女達の誘惑に耐えられるか!!
恋にバトルに全力の花巫女ファンタジー！
KODANSHA

KC DELUXE
魁の花巫女
2
きただりょうま
KODANSHA
魁の花巫女 2
きただりょうま
SHONEN MAGAZINE COMICS

※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、一切関係ありません。

※収録されている表現は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

魁の花巫女（2）

2025年1月1日（01）

著　　きただりょうま

発行者　　安永尚人

発行所　　株式会社　講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽 2-12-21